

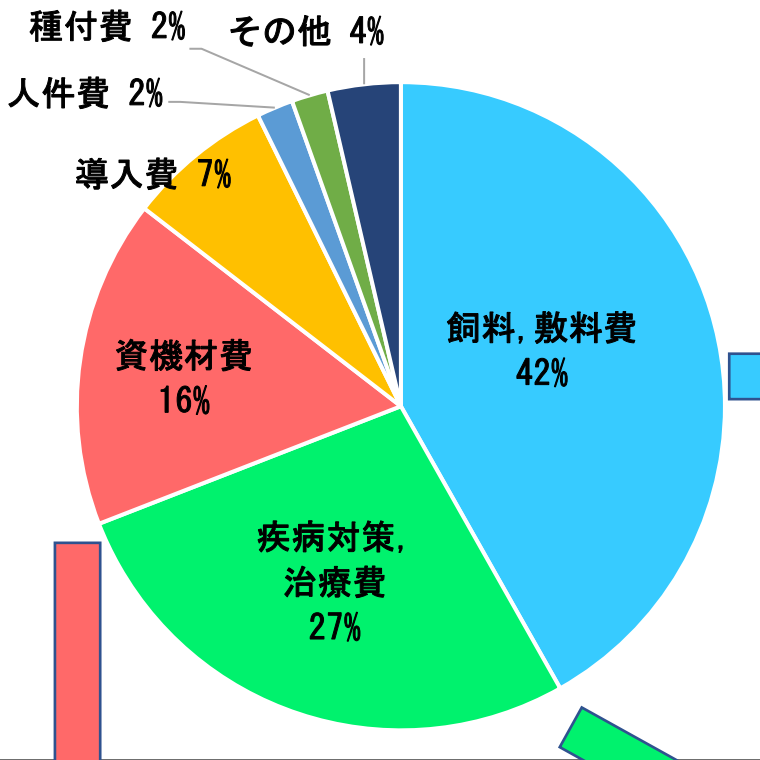
# 生産費低減対策の実施状況

# 肉用牛:20農場を調査

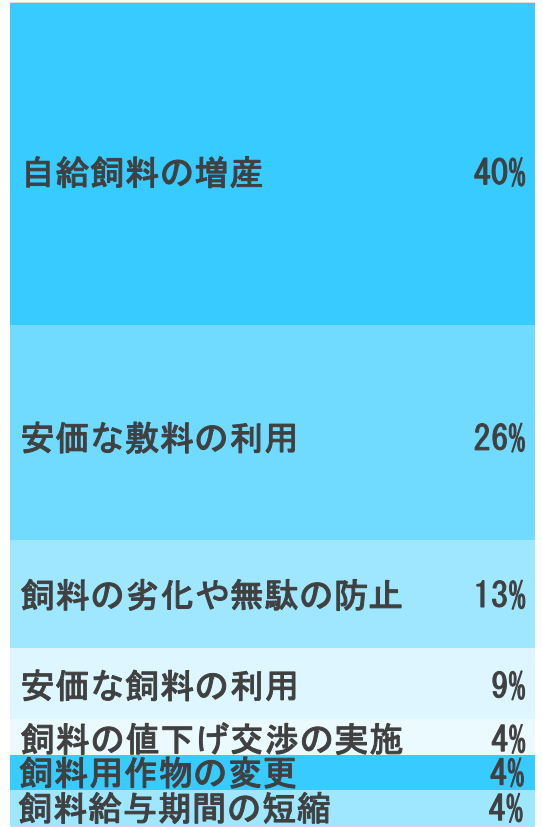
17農場が取組実施、3農場が未実施と回答



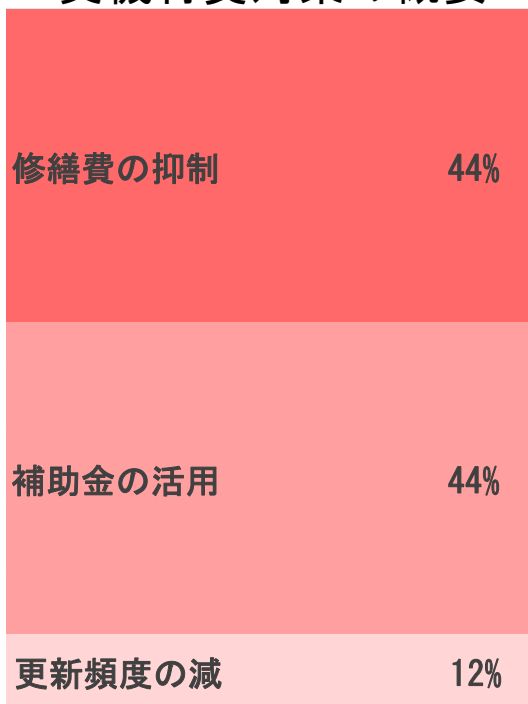
対策実施項目 (複数回答含む)



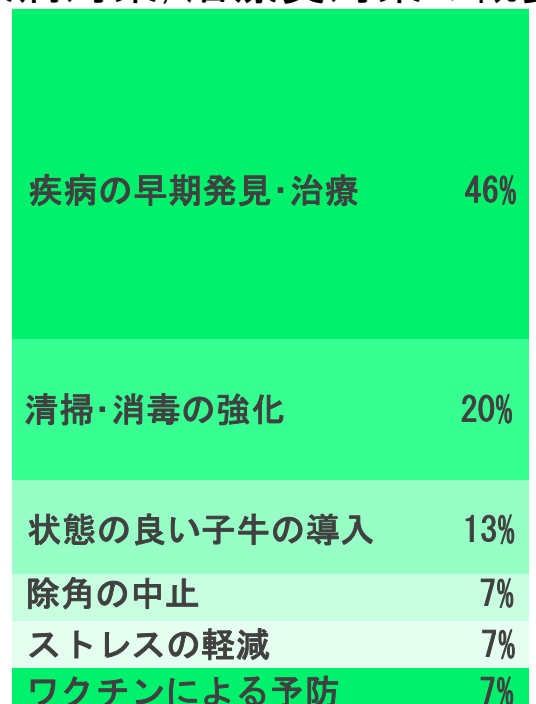
飼料, 敷料費対策の概要



資機材費対策の概要



疾病対策, 治療費対策の概要



裏面に各対策の内容を記載してあります

# 生産費低減対策の実施状況 肉用牛の回答一覧

項目	取組概要	内容
飼料, 敷料費	自給飼料の増産	WCS用稲の作付け開始, 作付面積拡大
		飼料用米の作付け開始, 作付面積拡大
		イタリアンの購入量を減らし, ソルゴーを作付け
		二条大麦の作付けをやめ, イタリアンを作付け
	安価な敷料の利用	敷料をおがくずから自家産の粃殻と稲わらに変更
		自家産稲わらを敷料に利用
		おがくずを取りに行き運搬費を削減
	飼料の劣化や無駄の防止	おがくずと粃殻を無償提供してくれる相手を確認
		自動給餌器から出る餌の量を調節して, 食べ残しを削減
エサの食べ残しを他の牛に給与		
安価な飼料の利用	飼料を単味で購入し, 自家配合して給与	
飼料の値下げ交渉の実施	飼料業者と価格交渉を実施	
飼料用作物の変更	WCSをやめ, 稲わらと牧草の自給に変更	
飼料給与期間の短縮	肥育期間を短くして出荷	
疾病対策, 治療費	疾病の早期発見・治療	牛をよく観察し, ビタミン不足で不調な牛を早期に出荷
		牛の状態を常に確認し, 体調不良の牛はビタミン・カルシウム剤で早期予防
		牛群管理システムを導入し, 健康状態を従業員で共有し迅速に対応
		分娩監視装置の導入による分娩事故の回避
		疾病の早期発見のため, 1人で管理できる頭数のみ飼養
	清掃・消毒の強化	敷料はこまめに換え, 牛床のまめな清掃を実施 消毒の徹底により病気が減り診療費が減少
	状態の良い子牛の購入	高値であっても状態の良い牛を導入
	除角の中止	労力削減, 事故防止のため除角を行わない
ストレスの軽減	月に1回ハエ・ウジの薬剤散布を実施	
ワクチンによる予防	導入時に経鼻ワクチンを利用	
資機材費	修繕費の抑制	できる限り自身で機械の修繕等を実施
	補助金の活用	機器導入の補助事業を利用
	更新頻度の減	使える資材を自分でメンテナンスし長く使用
導入費	より安価な子牛の導入	安い子牛を導入 以前購入していた日齢より若い子牛を導入
	導入頭数の削減	肥育経営に加え, 繁殖経営も開始
人件費	ICT関連機器の導入	自動給餌器導入により労力を軽減
種付費	人工授精費等の削減	本人で人工授精や受精卵移植を実施
その他	内部保留による経営の安定化	収益を内部保留し, 借入を行わない経営を実施
	業の分散による経営の安定化	乳用牛, 肉用牛, 農業を行い業を分散させ立て直し 易い経営を実施